

令和5年度第1回小牧市少年センター運営協議会 議事要旨

【日 時】 令和5年6月1日（木） 午前10時～午前10時45分

【会 場】 小牧市役所本庁舎3階301会議室

【出席委員】 安藤会長、丹羽委員、石田委員、堀田委員、木村委員、船橋委員

【事務局】 川尻こども未来部部長、伊藤こども未来部次長、小川課長、植松少年センター所長、杉浦少年センター副所長、大澤指導員、千種指導員、若林係長、上條

【オブザーバー】 長谷川指導主事（学校教育課）、山田主幹（市民安全課）

【傍聴者】 なし

【内 容】

1 あいさつ

（川尻部長）

新型コロナウイルスが第5類に移行し、生活環境や学校教育の現場もコロナ禍前の様子を取り戻しつつあるが、スマホ依存になる子どもやSNS上での中傷やいじめといったネットトラブルなど、子ども達を取り巻く環境は大きく変化している。

そのような中、個々の抱える複雑な問題の支援から、広く市民への意識啓発など、様々な課題解決のために、他の機関とも連携を密にしながら柔軟に対応し、青少年育成の推進に努めていきたいと思っているので、今後とも青少年の健全育成・非行防止のためお力添えをいただきますようお願いしたい。

（安藤会長）

新型コロナウイルスの分類が5類になってからは、社会生活が活気づいてきたと感じている。

現在、市内の中学校の多くが修学旅行に出かけており、子どもたちの明るい笑顔が見えているのではないかと想像している。

しかしながら、そんな表情と共に、コロナの影響を受けて、不安やうつ症状を抱えている子ども達はまだまだ多くいると思う。

そんな中で、本協議会が、地域連携をもとにして、少しでもこれらの課題解決に力添えができればと考えている。

委員の皆様には、限られた時間ではあるが、今年度の活動について慎重に審議、協議をお願いしたい。

3 議 題

（1）令和5年度活動方針について

（2）令和5年度実施計画について

○要覧6ページから11ページに基づき少年センター所長より説明

【質疑応答】

（堀田委員）

広報活動に関してはどれくらいの効果があるか。

(事務局)

青少年健全育成だよりを発行すると、学校や個人の方から必ず反響をいただいているので、読んでいただけていると感じている。

また、記事を作成する際も、文章ばかりではなく、写真を使って子どもたちの活動を紹介するように努めている。

(3) 補導・相談活動について

○補導：要覧15ページから17ページに基づき少年センター職員が説明

【質疑応答】

(石田委員)

以前、親御さんからどの相談窓口に行けばいいかわからない、たらい回しにされるといった相談を受けたことがある。この相談はここで受けているということが明確に分かるように周知できているか。

(事務局)

相談の内容別に少年センターや子育て包括支援センターなどの相談窓口を記載したパンフレットやチラシを小中学校で配布するとともに、安心相談カードを中学生全員と高校1年生に配布している。

また、市役所に電話で問い合わせがあった場合も、少年センターなど相談窓口案内してもらっている。

(木村委員)

P17にある、才問題行動の粗暴、暴力がR3年は多くなっているが、これは暴力をふるった側、受けた側のどちらの数か。またR4年に件数が減少している理由は何か。

(事務局)

こちらは、住んでいるマンションでの落書きや下の階にごみを投げ入れるなどをしてしまう子がいて、その親御さんからカウンセリングを受けたいという要望があったため、カウンセリングの件数として計上されている。その子が中学生になってからは行動が落ち着いたため、R4年は件数が減少している。

(石田委員)

市内での大麻の使用件数が増えているという話を聞くが、薬物や大麻に関しては、啓発チラシを配布する以外に、何か活動を行っているか。

(事務局)

毎年、中学校の生徒を対象として、薬物乱用防止教室というものを県警に開催していただいている。

(堀田委員)

相談があった場合、名前や学校などの情報は把握されているのか。

(事務局)

基本的には匿名で相談を受けている。問題解決のために学校との連携が必要な場合やカウンセリングを希望されている場合などは、氏名や学校名、連絡先を聞くこともあるが、名乗りたくない方へ、無理に聞き取ることはしていない。

4 懇談

(丹羽委員)

昨日、無施錠の自転車を盗んだ少年が検挙された。小牧署で小牧駅駐輪場の施錠率を調べたところ、無施錠自転車がも多く、それに付随して盗難が多くなっている。

自転車の鍵をかけないことが、非行に繋がりがねないので、様々な機会で施錠を促していただければと思う。

また、「アイチポリス」というアプリがあり、警察が発表している不審者情報や犯罪情報などを地図で見える化するアプリなので、今の小牧の情勢を把握する参考にしていただければと思う。

(木村委員)

コロナが明けて初めての夏休みになるので、子ども達の行動範囲が広がることや、LINEなどで他校や他学年の子供と繋がることの影響を心配している。

パトロールについても、範囲を拡大し、公園の暗がりなどにも集まっていないかなど、注意しながら行っていきたいと思う。

(堀田委員)

補導される件数には地域差があるのか。

(事務局)

未来館やドン・キホーテなど、人の集まりやすい施設がある地域の方が、補導件数は多くなる。

5 連絡依頼事項

笑顔でさきがけあいさつ運動の一斉啓発活動を、6月30日と10月30日に予定している。